

## 本書の特色

この本は、中学1年の冬休み前までの学習内容を中心につくられたテキストです。基本的な力をつける問題が中心になっていますから、今まで学んだことの基礎を身につけるために効果的です。

読解の単元は、最初の2ページで文章中にどんなことが書かれていたかをおさえたと、次の2ページで、同じ文章を扱った演習問題に取り組むという構成になっています。同じ文章を二度読むことで、内容を正確に読み取る力をつけましょう。

## 本書の使い方

- **学習のポイント**……各課で習得すべき学習内容が示されています。
  - **文章の流れをつかもう**……文章のあらすじをおおまかにつかむコーナーです。
  - **内容をとらえ直そう**……文章の内容を整理し直すコーナーです。
  - **演習問題**……前の2ページと同じ文章を扱っています。「文章の流れをつかもう」「内容をとらえ直そう」で確認した内容を思い出しながら解きましょう。
  - **漢字のトレーニング**……重要漢字の読み書きを確認しましょう。
  - **総合問題**……この本の総まとめの問題になっています。
- ※読解以外の単元……「整理しよう」「例題」を通して重要事項をおさえ、「演習問題」でさらに理解力を深めましょう。

## もくじ

〈中1国語〉

1	説明的文章	2
2	古典	6
3	文学的文章	10
4	詩・情報	14
	文法	18
	総合問題①	20
	総合問題②	22

# 1 説明的文章

## 学習のポイント

- ・ 接続語の働きに注意しながら、文章を読む。
- ・ 指示語の指す内容をとらえる。
- ・ 筆者の意見を読み取る。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45 40 35 30 25

(沢田允茂『少年少女のための論理学』より)

文章の流れをつかもう

「少年少女のための論理学」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめました。  
 □に入る言葉を文章中から書きぬきましょう。

物の名前を知る↓その物をほかの物と ① するの役に立つ

名前のつけ方↓ひじょうに ② な物とそれ以外のものとでちがう

名前のよび方↓わたしたちの生活や ③ に関係している

名前の使い方↓ ④ によってもちがう

生活の ② や ④ によつてちがった名前のよび方、つけ方をしている

③	①
④	②

内容をとらえ直そう

日本とヨーロッパの物の名前のよび方のちがいをまとめました。  
 □に入る言葉を文章中から書きぬきましょう。

	ボラ(さかな)	肉
日本	スバシリ ← イナ ← ボラ ①	肉 ③ の名前を上につける。 (しいて区別するとき)
ヨーロッパ	マリット	ニワトリの肉 ④ 「チキン」 ウシの肉 ④ 「ビーフ」 ブタの肉 ④ はじめからちがった名前がつけられる。

③	①
④	②

事例を整理する↓対比されている内容をとりえやすい。

演習問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45 40 35 30

(沢田允茂『少年少女のための論理学』より)

□(1) — 線①「たくさんさんの名前を教わってきました」とありますが、たくさんさんの名前を知ることによる利点を、十五字以内で書きなさい。


